

飛翔
HISYOU

スローガン
世界で一番通いたい学校

〈めざす生徒像〉

自主：正しく判断し主体的に行動する生徒
協調：信頼し助け合い、思いやりと感謝のある生徒
責任：責任を自覚し、最後までやり抜く生徒
勤勉：喜びを感じながら、主体的に学ぶ生徒
健康：逞しく生きるための意志や体力を持つ生徒

令和4年1月31日
枚方市立長尾中学校
校長通信第36号

大阪など関西3府県、21日から「蔓延防止」適用へ

全国的なコロナ感染拡大（第6波）を受け、関西3府県において1月27日から2月20日までの期間、特別措置法に基づく蔓延防止等重点措置法が適用となり、大阪府においては、感染リスクが高い場所への外出の自粛や会食を行う際の4つのルールなどを要請し、

府民に対し

- 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動の自粛
- 営業時間短縮を要請した時間以降、飲食店にみだりに出入りしないこと
- 会食を行う際は、4ルールに留意すること
 - ・同一テーブル4人以内
 - ・2時間程度以内での飲食
 - ・ゴールドステッカー認証店舗を推奨
 - ・マスク会食※の徹底
- ※疾患等によりマスクの着用が困難な場合などはこの限りでない。
- 感染防止対策（3密の回避、マスク着用、手洗い、こまめな換気等）の徹底
- 不要不急の都道府県間の移動は極力控える。（対象者全員検査で陰性を確認した場合は対象外）
- 少しでも症状がある場合、早めに検査を受診
 - 感染不安を感じる無症状者についても、検査を受診（無料検査事業を実施）
- 感染対策が徹底されていない飲食店等の利用を自粛

大学等の教育機関に対しては

- 発熱等の症状がある学生は、登校や活動参加を控えるよう周知徹底
- 部活動や課外活動における感染リスクの高い活動（合宿等）や前後の会食の自粛
- 感染リスクの高い、自宅・友人宅での飲み会や多人数が集まる会食の自粛
- 感染防止と、対面授業・オンライン授業の効果的実施による学習機会の確保の両立を図ること
- 学生寮における感染防止策などについて、学生に注意喚起を徹底すること

を呼びかけました。この事を受け、枚方市教育委員会は新型コロナウイルス感染症拡大による当面の教育活動について、感染症拡大防止の対策を徹底した授業を行うとともに、感染リスクの高い活動は実施せず、また、コロナ不安により家庭で学習する児童・生徒に対して、ハイブリッド型授業の実施を決めました。

本校においても、引き続き感染症対策の徹底を図りながら教育活動を実施します。感染症への不安等により登校しない場合は出席停止とし、欠席扱いはしません。第5波の時は学校に一人でも陽性者がでた場合は「臨時休校」としていましたが、必要に応じて陽性者の所属する学級等（学級、部活動、留守家庭児童会室）を閉鎖します。

デルタ株に続き、世界中で流行するオミクロン株の特徴としては、

- 非常に感染力が強く、若年での発症・入院数が増加している。
- 発熱（72%）・咳（58%）・だるさ（50%）・のどの痛み（44%）などの風邪症状が中心である。
- 潜伏期間が短い（アメリカの報告例によると潜伏期間の中央値は3日）

などがあげられ、国立感染症研究所の報告では、ワクチンの接種の有無にかかわらず発症もしくは診断日より10日たっていれば無症状者および軽症者においては発症または診断10日以降に感染性ウイルスを排出している可能性は低いと考えられています。

毎朝の健康観察を必ず行い、風邪症状がある場合は登校を控え、医療機関等に相談するよう願います。

本校でも学級閉鎖ができました。

先々週から先週末にかけて、コロナ感染症による学級閉鎖が複数発生し、3年生卒業テストが延期になるなど教育活動に支障がでています。コロナ感染は細心の注意を払っても感染する場合があります。興味本位で感染者を特定しようとしたり、心無いうわさや偏見・差別など風評被害が生じないように、プライバシー及び人権には十分に配慮して下さい。また、ご家族で濃厚接触者や陽性者がでた場合は、学校にお知らせ下さい。ご理解とご協力をお願いします。

少し前になりますが…

1・2年生チャレンジテストが行われました。

13日(木)に1・2年生を対象とした「大阪府チャレンジテスト」が行われました。このテストは、大阪府下にある各中学校の生徒の学力と課題を把握し改善を図るとともに、各学年末につける評定のつけ方で学校ごとに差が出ないように共通の指標を作ることを目的に、2015年から実施されています。つまり、各中学校と府全体のテスト結果の平均点を比較して、高校入試の際に用いられる内申点が適切につけられているか確認する仕組みです。中学校平均と府平均の差が大きい場合は、学校で付けた評定が補正されることになります。

コロナ感染対策として窓を少し開け換気をする中、1年生は国・数・英の3教科、2年生は国・数・社・理・英の5教科のテストに臨みました。特に2年生は、今日1日の授業が全てテストという、これまで経験した事がない日課となり、最後は相当疲れた様子でしたが、終礼が終わるとイキイキとした顔で教室を飛び出していました。テストの結果は2月下旬以降に発表されます。(3年生のチャレンジテストは、昨年9月に行われました。)



クラブ成績紹介

本校女子バドミントン部が、以下の大会で優秀な成績を収めたので紹介します。よく頑張りました。

【大会名】令和3年度 枚方ウィンターチャレンジ

【日付】令和3年12月26日(日)

【場所】枚方市立第4中学校

【成績】第2部 準優勝

第3部 優勝

2-3 梶原結月 2-1 平井咲希

1-4 謙 美羽 1-4 前田陽愛

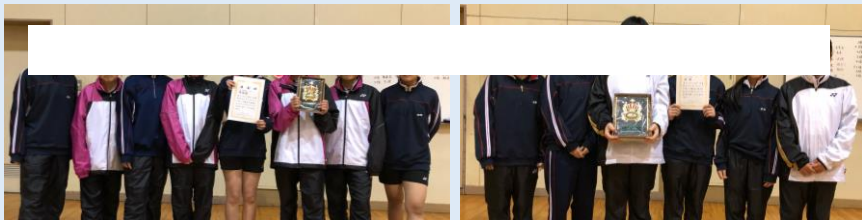
2-3 阪上舞桜 2-1 増田桃奈

1-4 濱池夏菜 1-4 福田芽衣

2-4 佐藤 真 2-1 服部心那

1-1 服部愛来 1-2 安田成穂

2-4 吉住真結愛 2-1 黒見夏蓮



市主催行事成績紹介

本校生徒が以下の行事で優秀な成績を収めたので紹介します。よく頑張りました。

【行事】枚方市タイピング選手権

11・12月

【日付】令和4年1月27日(木)

【場所】自宅でオンライン

【成績】中学の部 第4位

1年2組 奥田 修

(ZANSI)



これも、ちょっと前になりますが…

阪神淡路大震災—追悼の祈り—

6,434人が犠牲になった阪神淡路大震災は今年17日で発生から27年となり、各地で追悼行事が営まれ、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、マスク姿の遺族らが静かに祈りを捧げました。

「もっとたくさん話したかったのに……。後悔は尽きません。」高校2年生だった姉の瑞恵さん(当時17歳)を亡くしたシンガー・ソングライターの田代作人さん(37歳)は、神戸市中央区の東遊園地で開かれた市の追悼式典で、遺族を代表して追悼の言葉を述べました。

小学校4年生だった震災当時、神戸市東灘区で家族7人で暮らしていました。5人きょうだいの一番上の長女瑞恵さんは小さい頃から家事を手伝い、母親を支えていたそうです。学校の先生になるのが夢で、予備校に通うためアルバイトをして学費を稼ぐ頑張り屋でした。震災前日、田代さんが瑞恵さんの部屋に行くと、リズムに乗って音楽を聴きながら勉強していました。マネをしてからかうと怒られ、口を利いてくれなくなったそうです。「あした謝ればいいや」翌朝、自宅は倒壊し、瑞恵さんだけが亡くなりました。

田代さんは高校卒業後、アルバイトをしながら歌手を志しましたがうまくいかず、20歳を過ぎた頃、瑞恵さんに会いたくなくて墓参りをした帰り道、姉への思いを歌にしました。田代さんは今、歌手活動だけでなく、各地の学校などを訪問し、自身の被災体験を語り、ギターを手に歌を披露する「弾き語り部」を続けています。

今回、神戸市から遺族代表にと声をかけられ、「震災を風化させないよう多くの人に伝えたい。」と追悼会場で記憶を一つ一つ思い起こしながら話をしました。不安と恐怖で無我夢中で叫んでいたこと、姉ががれきの中から運び出された瞬間のこと…。気持ちを込めて語った後「Dear Sister」を披露すると、遺族らは静かに耳を傾けていました。「生かされた命を大切に、震災を知らない世代に経験を伝えていくことの思いを込めた。」これからも、亡き姉と二人三脚で歌い続けます。

(毎日新聞 17日夕刊より)

